

電報（秘密暗號法）

東京一九四一年（昭和十六年）八月三十日 一〇時〇分午後  
到着一九四一年 八月三十日 二〇時一五分

八月三十日ノ第一六六〇號 至急！

二十九日ノ電報第一六五七號ヲニツク（十）  
Vol VII

外相ハ今日午後退任在席ノ下ニ余ヲ引見シタ。余ハ先ツ八月二十五日ノ電報訓令第一三八三號ニ從ツテ一般狀況ノ有様ヲ傳へ、ソノ間ニソノ弱點ノ蒙リ  
ツタ軍事の弱點ヲ強調シ、アメリカ軍備ノ未完了ヲ指摘シタ。ゴノ情勢下  
ニ於イテ日本ハ彼ノ地位ト優位ヲ保持スルニ必要ナ決議ヲナスゴトガ危険  
ヲ冒スゴトナシニ出來ルノテアル。

（十）特別列車第八九〇號（Vol VII）

Key Note # 1641

余ハ外相ニ、ルーズベルト大統領ニ宛テ近衛ヲツセーヂニツイテノ詳細  
ヲ余ニ知ラセル様ニ願フ。余ハゴノ行動ガ合衆國ニ於イテ日本ハ大平洋

Ref No # 1641

ニ於ケル積極行動ヲ斷念スル用意ガアルトノ印象ヲ喚起スルコトヲ恐レルモノデアルト述ベ、アメリカ側デコノメツセージガ非常ニ容易ニ結成スルデアラウ所結カラ望田ヲ求メル逆結成ニツイテノ我々ノ知識ノ確證ヲ示リ返ヘシタ。望田ハ彼ガ唯ソノ前日近衛メツセージニツイテ天羽外務次官ニヨツテ述ベラレタコトヲ余ニ對シ確認シ得ルノミデアルト答ヘテ、日本ノ行動ガ日本ハ三國條約ノ目的ニ從ツテアメリカヲ牽制カラ妨ゲル意圖ヲ有スルト云フソノ目的ニ違フカ否カノ點ニ入ルコトヲ述ケタ、近衛メツセージガ喚ビ起シタ最初ノ會談ハ唯簡單ナモノデアリ、コノメツセージガ一般的人格ヲ帯ビテキルノデ難カニアメリカ政府ノ何等カノ見解ヲ呼ビ起スニ至ラナカッタト答ヘタ。

野村大使ノ報告ハマダ來テナイ、併シ彼ハ余ガ切ニ知ルコトヲ願ツテキルソノ頼ミノ意圖ヲ慮慮シテ、合衆國ノ返答ガ來ルヤ否ヤソレヲ余ニ傳ヘルデアラウト、近衛メツセージノ本文ヲ任スコトヲ余ガ求メタニ對シテ望田ハ之ニ應ジナカッタ。

望田ハ會談ノ間何時モノ彼ノ口ニ從ツテ非常ニ控へ目デアツタ。余ガ聞イ

Ref Doc # 1641

タ所ニヨルト近衛メツセーシガ目的ニ適フカ否カハ陸軍及ビ海軍ノグルー  
ブデ活潑ニ討論サレテニル、近衛政府ノ立場ニ鑑ミテ、假令一時的ニモ合  
衆國ト暫定協約ヲ結バウト試ミルコトハ考ヘラレタノダガ、然モ首相メツ  
セーシノ報ハ不意デアツタ。コノ行動ニ對シテアメリカ新聞デ與ヘラレタ  
記事ハ當地ニ苦痛ナ感シヲ與ヘ、政府ノグループ内ニ於イテモ、若シカス  
ルト希望シタノト異ツタ反作用ガアルカモ知レヌト云フ不安ナ感シヲ殘シ  
タ、政府ハ新聞ノコレニ相應シタ取扱ヒヲ限定サレタ枠内ニ止メ様ニ努力  
シテキル